



高速しが

平成26年
8月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

高速道路のルールを守って安全走行

いよいよ夏本番です。この時季、夏のレジャーやお盆の帰省などで、高速道路を利用する車両が増加し、車両集中による交通渋滞が起こります。いらいらが募っての交通事故も多発する時期です。安全運転のポイントを守り、事故のない楽しい夏を過ごしましょう。

安全運転のポイント

1 燃料は事前にチェック！

燃料切れで本線上に立ち往生する車が少なくありません。高速道路での燃料消費は一般道路の目安より多く消費します。必ず燃料計を確認しましょう。



2 加速車線をフルに活用！

早く本線へ、という焦りは禁物です。加速車線をフルに使用して十分加速し、本線車両の動向を確認しつつ落ち着いて流入しましょう。

3 速度計を時々チェック！

高速走行になれてくると、スピード感覚が麻痺し次第にスピードが出てしまいがちです。時々速度計でスピードをチェックし、緊張感を持って運転しましょう。

速度計で走行速度を時々チェック



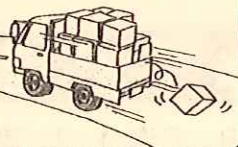
4 眠気や注意力の低下を自覚！

高速運転開始後30分ほどすると、「高速催眠」といわれる眠気に襲われたり、注意力の低下に陥りやすいです。もう少し、と我慢せず、早めにSA・PAで休憩を取りましょう。

5 積載物の落下を防ぐ！

積載物の落下は、後続車が乗り上げたり衝突するなど、大事故に直結します。

運行する前に落下や荷崩れが起こらないよう確実に点検しましょう。



6 車間距離は十分にとる！

トラックの運転視界は、運転席が高く路面空間が広く見えるため、まだ余裕があると錯覚して車間距離を詰め、異常接近する特性があります。車間距離は常に意識的に長めに保つことが大切です。



高速道路安全運転5原則

① 安全速度を守る。

② 十分な車間距離をとる

③ 割り込みをしない

④ わき見運転をしない

⑤ 路肩走行をしない

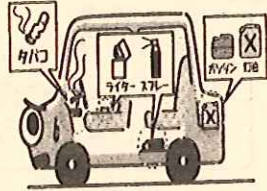
危険！！車両火災の原因は？

猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あります。例年この時季には車両火災の発生が予測されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を再認識して頂いて、火災事故を起こさないため走行前の点検をしてください。

あなたの車に車両火災の危険がないかチェックしてみましょう。

★ 車内に燃えやすいものを置いていませんか？

高温になる車内に、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などは溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



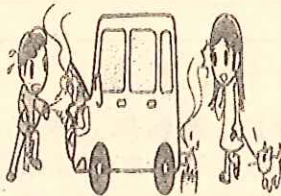
★ 車中仮眠はエンジンを切ってから！

エンジンをかけたままでの車中仮眠は、知らず知らずのうちにアクセルを踏み込むことでエンジンが高回転を続けて異常に加熱し、車両火災を引き起こすことがあります。また、燃料の無駄遣いや騒音公害のほか、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性も高くなるので、絶対にやめましょう。



★ 駐車場所は安全ですか？

高速走行後、エンジンや排気管が熱くなっているとき、枯れ草や紙くずなどがある駐車場に、無関心のままエンジンをかけた状態で駐車したり、長時間駐車しておく、高温となっているエンジンやマフラーなどの熱によって発火する危険があります。



★ エンジンオイルの点検を忘れずに！

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイル量が減っていたり、交換時期を忘れてオイルの劣化を招くと潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

びわ湖大花火大会に伴う渋滞情報

今年も恒例の花火大会が8月8日（金）に開催されます。（荒天時は8月11日（月）に延期）

大津インターチェンジ周辺では、花火見物車両の路肩停止や脇見による減速等によって、本線車道が渋滞することが予想されます。花火大会当日は、京滋バイパスを利用して頂き、渋滞緩和に御協力をお願いします。

